

一見寒々とした寂しい光景が
広がる薬草園ですが…。

よ〜く目を凝らして見てみると、
ちらほらと新しい芽が出はじめています。



シャクヤク

科名:ポタン科
生薬名:シャクヤク(芍薬)
薬用部位:根
薬効:収斂、鎮痙、鎮痛

アミガサコリ

科名:コリ科
生薬名:バイモ(貝母)
薬用部位:鱗莖
薬効:鎮咳、去痰

ニフトコ

科名:スイカズラ科
生薬名:セッコツボク(接骨木)
薬用部位:茎、枝
薬効:消炎、鎮痛、利尿

アミガサコリのあれこれ

鐘形の淡黄緑色の花を下に向けて咲かせます。名前はこの花の形を編み笠に例えたもので、花弁の内側には網目模様まで付いています。生薬の貝母とは貝に似た二つの鱗片が割れて中から子の球根が出てくる様子を、母が子を抱く姿に例えたとされています。開花が3~4月頃と早いので見逃さないよう要チェック!

薬草園だより

Vol. 54
Feb 25

今年もはや立春が過ぎ、雪の降るような寒い日もありますが、ふと日差しを温かく感じる日も増えてきたように思います。
まだまだ風邪やインフルエンザの猛威が続きます。皆様お体にはより一層気を配って過ごしましょう!
さて、今回の薬草園だよりでは一足先に春の訪れをご紹介していきます。



一方、温室では少しずつ花が咲き始め、春めいてきています。



先号特集しましたマンドラゴラに実が生っています。同じナス科のトマトに似た実で、大きさはミニトマトくらいです。愛嬌があって可愛らしいです。



ハナニラ

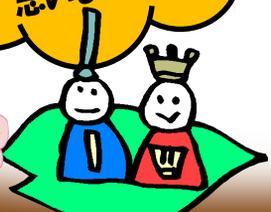
科名:コリ科
ニラと同じコリ科ですが、属が異なるため近縁ではありません。しかし、葉に傷をつけるとニラと同じような臭いを嗅ぐことができます。あまり嗅ぎたくはありませんが、…。



ツルナ

科名:ツルナ科
生薬名:バンキョウ(番杏)
薬用部位:全草
薬効:清熱、解毒、健胃
沖縄ではハマホウレンソウと呼ばれ、おひたしにして食べられています。

探してみませんか?
皆さんの周りにも訪れ
ている春をきっと見
つけることが出来ると
思います!



バジル

科名:シソ科
生薬名:ラロク(羅勒)
薬用部位:全草

薬効:疲労回復、鎮静、健胃、清熱

料理に使われることで広く知られています。種子は水を含むと膨らみ、表面に粘り気のある膜ができます。それを利用し目の汚れを取ることに使われていたためメボウキ(目簾)と呼ばれています。

